

認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信

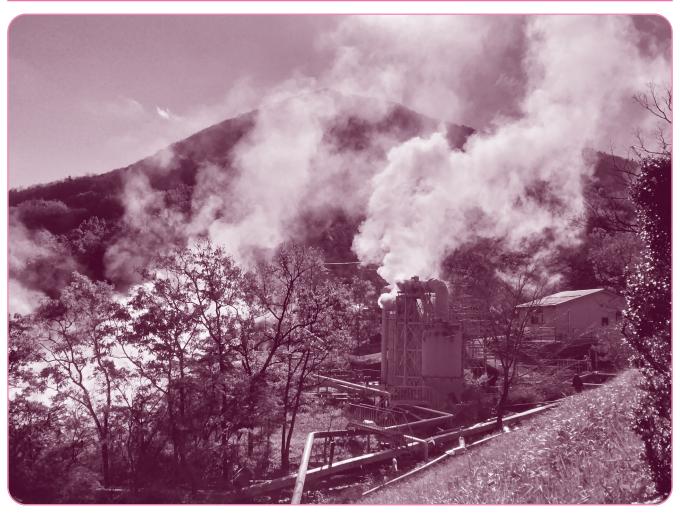
EONOS通信





埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

aitama Center for Climate Change Actions





地方から穏やかな革命を!~エネルギー・資源の地産地消とコミュニティ活性化~ 陸前高田しみんエネルギー株式会社 代表取締役 小出 浩平

蕨で生まれ、川口、上尾、現在所沢市在住です。1995年ネットワーク地球村高木善之さ んの講演を聞き、衝撃を受けました。丁度、妻が長男を授かった時期と重なり「この子の未来 に自分は何ができるのか、少しでもより良い地球をバトンタッチしたい | と心に決め、気持ち は1mmもぶれずに30年歩いてきました。これまで風力発電、メガソーラー、生ごみリサイク ル (たい肥化)、ビンリユース、林業、有機農業などに取り組みながら、「政府を待っていても 変わらない、地方からの穏やかな革命が必要」と決断し、2016年から地域新電力を作り、エ



ネルギー・資源の地産地消とコミュニティ活性化に取り組んできました。挫折もありましたが、ご縁があって 2015年から関与させて頂いている陸前高田市に会社を立上げ(現在社員13人、ドライバー6人)、グリーンス ローモビリティ、営農強化型太陽光発電などに取り組んでいます。それを加速化させなければ地球が危ないとの 意識から、市に働きかけ脱炭素先行地域に3回チャレンジし、昨年選定されました。今、スタートラインに立ち、 2030年までに力をつけ、2050年脱炭素化を必ず達成します。関心を持って下さる地域に、経験の全てをオー プンにし貢献したいと思っています。



「第6回SDGsエコフォーラムin埼玉」を開催しました!

昨年12月7日(土)に獨協大学で、第6回目の SDGs エコフォーラム in 埼玉 (以下、エコフォーラムという)を開催しました。本エコフォーラムは12月開催が恒例となっており、名称は時々で変わってきましたが、今回で通算24回目となります。コロナ禍以前は県内大学で開催していたのですが、再び前回から大学で開催できるようになりました。当日は、オンライン配信も行い、300人以上の方に参加をいただき大変盛況でした。

午前中は獨協大学学長の前沢 浩子先生による「イギリス文化と自然一新たな価値のために一」と題して、イギリスの文化や芸術を始めとし、ピーターラビットに代表されるような自然と調和した暮らしやイギリス人の自然志向について、興味深いお話を伺うことができました。次に、獨協埼玉中学・高等学校のサイエンスクラブの活動について、顧問の香束 卓郎先生からご紹介をいただきました。さらに、埼玉県地球温暖化防止活動推進員への感謝状授与や埼玉県エコアップ認証事業所表彰式を行いました。

午後は6つの分科会(カテゴリーとして、省エネ・街づくり・食・若者の脱炭素・地域間交流・生物多様性)に分かれ、各テーマに即した先進事例や活動等の紹介をとおし、知見を深め議論や意見を交わすことができました。大学での開催ということもあり、各分科会には高校生や大学生の若者からシニアまで幅広い層の方々が参加され、交流からネットワークも生まれました。終了後は交流会も開催され、一日を通しての盛り上がりも絶好調となり、次年度開催の声も上がりました。

本エコフォーラムは、補助金やサイサン環境保金基金さらにご寄付等のご支援をいただきながら開催しています。今回は24個人・企業団体の方から寄付をいただきました。誠にありがとうございました。関係者及びご支援いただいた方に心より感謝申し上げます。



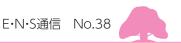












中小事業所の脱炭素経営支援!

■ 中小事業所の省エネ支援

当団体は、埼玉県省エネナビ ゲーター事業を受託し、県内中 小事業所の省エネ診断の事務局 を2011年から担っています。今 までに、777件に及ぶ専門家の 派遣をコーディネートしていま



す。今年度も30件ほどの省エネ診断を実施しました。さらに2017 年から開始しました経産省補助事業"省エネお助け隊"の事務局も 担っており、省エネ診断や省エネ支援に対して専門家派遣を行って います。今年度も20件ほどの診断や支援を行いました。



省エネナビゲーター事業 で省エネ診断を受診した事 業者が、省エネお助け隊を

活用し伴走支援を受けることができますので、大いに活用してい ただけることを期待しています。

中小事業者向け

A the Latities

令和6年度

埼玉県省工ネ診断事例発表会

(第2回) 埼玉県省エネ技器事例免表会 "エアー関連設備・コンプレッサーの省エネ方法と事例"

主 催:埼玉県 事務局:特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

けた省エネルギー部部並充事業・物門家 樋口 藤宏氏

別発表:中小事業者によるコンプレッサー等の 省エネ対策実施引

ドリ。 いただき、責社の省エネ、経営改善、環境的

舞2月21日⊕ 14:00~16:00 (終7後、個別相談会)

新都心ビジネス交流プラザ 会議室B

■ 舞3月5日◎ 14:00~16:00

大宮ソニックシティ 市民ホール401

他に、中小事業者へ省エネの意識向上を目指し、2回にわたる「埼 玉県省エネ診断事例発表会 | の開催を支援しました。オンラインも 併用したため、通算200人以上の方に参加いただきました。



2 中小事業所の脱炭素支援

埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームの分科会として、今年度からカーボンニュートラル分科会がス タートしました。当団体は県の委託事業として、セミナー開催や分科会会議の支援を行いました。今年度 は3回にわたるカーボンニュートラルセミナー"中小企業のための脱炭素経営セミナー"を開催し、多くの 方に参加いただきました。初年度ということもあり、"知る・測る・減らす"のキーワードに沿ってセミナー を進めました。また、会場では脱炭素ソリューション関係の企業様に出展していただき、名刺交換等を兼 ねた交流の機会を設けることもできました。

アンケート結果からは、脱炭素に取り組む動機としては、まずエ ネルギーコスト削減、次に社会的な機運、企業価値の向上が挙がっ ており、課題としては、人材不足、費用が掛かる等が挙げられてい ました。サプライチェーンの輪の中にいる中小事業者にとって、脱 炭素への取組は喫緊の課題ですが、今後この結果を参考にどのよう な支援ができるか考えていきたいと思います。







家庭の省エネ

■ 省エネ相談会を開催しました

今年度も埼玉県事業として、県内において15回の省エネ相談会を開催しました。5月の熊谷環境フェアを皮切りに、ショッピングセンターや自治体主催の環境イベント等に出展し省エネ相談会を行いました。相談会は、省エネの研修を受けた





推進員が対面で各家庭にあった省エネアドバイスを行うものですが、通算で相談者数891名、ワークショップ参加者数1290名に対応することができました。「家庭の省エネガイド」等の中身を紹介しながら、具体的な省エネ方法についての説明を参加者は熱心に聞いてくれました。

アンケート結果から特に注目した点は、全体の70%近くの家庭が照明を LED に交換したと答えており、 LED の普及は思った以上に浸透していることが分かりました。

2 家庭の省エネ実践講座を開催しました!

今年度、埼玉県事業初の試みとして、断熱改修ワークショップと省エネ実践講座を開催しました。断熱改修ワークショップは、11月17日(日)、宮代町辰新田集会場にて、建築の専門家(一社)Forward to 1985 energy life の協力を得て、参加者15人ほどで開催しました。天井、窓、床下の断熱改修を実際に体験してもらい、参加者と一緒に断熱効果を確認しました。断熱した部分を赤外線カメラで確認すると断熱効果が良く分かりました。

断熱改修ワークショップの様子は、Web サイト、https://saitama-enp.jp/katei/jissenkoza/ にアップ していますので、ぜひご覧ください。

さらに、DIY でできる窓断熱のワークショップを、株式会社カインズの協力の元、1月末~2月の初めに

かけて、カインズ新座店、朝霞店、本 庄早稲田店で開催しました。各店舗の 参加者は10名程度でしたが、断熱効 果についての当センターや㈱ LIXIL に よる講義の後に、DIY による内窓作り を行いました。家庭でも簡単にできま すので、ぜひ試してみてください。





埼玉県地球温暖化防止活動推進員のご紹介

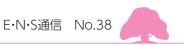
今回は鶴ヶ島市にお住まいの三浦 信一さんをご紹介します。三浦さんは、令和4年度に委嘱されました新規の推進員ですが、鶴ヶ島市と連携し精力的に推進員活動を展開されています。地域の団体である「つるがしま情報連絡会」、「つるがしま緑のカーテン市民実行委員会」、「エコ鶴市民の会」等の役員として、また、その会員として多くの活動を自ら計画・準備・実施しています。特に、6月に開催されました「第5回つるがしま市民環境まつり2024」では、エコ鶴市民の会のメンバーとして、値引きシールを集めて景







品と交換しようキャンペーンを企画実施し、市民へ食品口スについて訴求しました。総数1274枚の値引きシールが集まり大変盛況だったとのことです。他にも、ゼロカーボン推進事業として市民向け省エネ講座の開催、みどりのカーテンの普及、廃棄物の削減や市民対象の見学会を催する等、活動は多彩です。次年度もさらにレベルアップし、地域の皆様へゼロカーボン活動を推進したいとのことです。頑張ってください!



プロスポーツチームによる脱炭素への取組を支援

SAITAMA スポーツ×脱炭素アクションミーティングが、2月17日に知事公館で開催されました。県内には、多くのプロスポーツチームが活躍しています。スポーツは心身の健康や文化の面で欠かせないものです。日本のスポーツ人口は、約7800万人と言われる中で、プロスポーツ選手の取組や情報発信は私たちに大きな影響を与えます。一方、スポーツ活動は興行や移動、廃棄物等から発するエネル



ギーの消費は大きく、反面、熱中症による選手の健康被害等、影響は大きいといえます。脱炭素を目指し、プロスポーツチーム自らの CO_2 削減と連携による啓発への取組を推進するために、全チームが参加する第1回ミーティングが開催されました。当温防センターも支援等を行う立場として、星野センター長のプレゼンテーションも交え参加させていただきました。

彩の国埼玉環境大賞が決定しました!

彩の国埼玉環境大賞は、26年間にわたって SDGs など環境・社会・経済の統合や環境保全、環境学習などに取り組む、埼玉県、㈱テレビ埼玉、当温防センターが主催となっています。令和6年度は62組の応募の中から受賞者18組が決定し、2月7日に知事公館にて表彰式が行われました。

大賞 県民部門

特定非営利活動法人地域人ネットワーク ナタネ栽培を中心に資源循環を学ぶ農業体験学習活動

見沼たんぼの不耕作地でナタネや野菜を栽培。生態系に影響を与えない自然循環型農業を実践するとともに、農業と緑地保全の大切さを理解してもらうために「菜の花農業体験教室」を開催し、ナタネの収穫・油しぼり実験等を通じて資源循環を体験学習する活動も展開。また採取した野菜の一部は、地域の学校や子ども食堂などに提供。





大賞 事業者部門

株式会社ティービーエム

脱炭素に向けた未利用食品廃棄物の最大資源化事業

未利用食品廃棄物を脱炭素資源として最大限有効活用するための技術、サービスを独自開発し、知財化と国内外での GX 事業を展開。浮上油脂の「バイオ燃料化・原料化」、CO2 削減効果の可視化も含めた ERP システムを開発し、首都圏 600 店舗以上で独自の脱炭素サービスを提供。未利用な「食品ロス」、「残渣汚泥」の脱炭素資源化に向け、県産業技術総合センター及び国立環境研究所と連携して「AI メタン資源化マッチングシステム」の開発にも取り組む。



彩の国環境ネットワークプラザが充実!

埼玉県の温暖化についての情報を一元化した"彩の国ネットワークプラザ"の内容が深化しています。 今年度は、新たに動画「脱炭素につながる新しい暮らしを目指そう」がアップされました。他にも、短時間で温暖化やその対策が分かる動画がアップされており、学習等にご利用いただいています。さらに「コバトン家庭の省エネアクション31」の各項目を実施することで、CO2削減量や節約金額が自動で可視化できるサイトもアップされました。プラザでは、"冬をエコライフで乗り切ろうプレセントキャンペーン"等のイベント情報も日々更新していますので、ぜひご覧いただきご活用下さい。

プラザへの入り方は当団体のホームページを立ち上げ、右上のバナーをクリックしても入れます。https://saitama-enp.jp/

● アクセス・開館日

OME 環境ネットワーク埼玉とは 埼玉県地球温暖 防止活動推進せる

常出ツール 彩の国環境ネットワークプラ (埼玉県内イベント情報)



● 事務局からのお知らせ

"脱炭素につながる新しい 豊かな 暮らし" パンフレット&パネルを作成しました!

2050年の脱炭素を目指し、新しく"脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動"が始まりました。愛称を"デコ活"といいます。脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿を紹介するとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しする取組です。それを受けて、当温防センター(デコ活ローカル)も脱炭素ライフスタイルの取組事例をご紹介するパンフレットやパネルを作成しました。HPからもダウンロードできますので、ぜひご活用下さい。

※パンフの PDF は https://kannet-sai.org/tool/files/pamphR6.pdf を見てください。





令和7年度通常総会の お知らせ(予告)

日 時 令和7年6月14日(土) 午後3時~4時30分 ※1時30分から記念 講演を行います。 詳細は後日HPに てお知らせします。

場 所 大宮ソニック市民 ホール401

議 **案** 事業報告・事業決算・ 事業計画・事業予算

表紙の説明

八丁原地熱発電所 (大分県九重町)

阿蘇くじゅう国立公園の山々に 囲まれ風光明媚な場所に立つ日



本最大の地熱発電所です。最大出力は11万kW、昭和52年に1号機、平成2年に2号機が運転を開始しました。また、平成18年には日本で初めてバイナリー発電が導入されています。純国産の再生可能なエネルギーです。地熱発電が立地する大分県九重町は多くの人が訪れる温泉郷であるため、観光資源に何らかの影響が出るのではとの地元住民の声をうけ、地域と共生するためのさまざまな取組が続けられています。

●賛助会員・寄付募集 認定 NPO 法人である当団体へのご寄付及び 賛助会費は、税制優遇措置の対象となっています。所得税、法人税、相続税、一部の自治体の住民税において、それぞれ定められた条件を満たすことで優遇対象となります。詳しくは、ホームページをご覧ください。引き続き、皆様のご支援ご協力を お待ちしています。

編集・発行

発行日 令和7年3月31日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター/認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5埼玉県浦和合同庁舎3階

https://kappot.sai.org/indox.html

閉館日 土・日・祝日、12/29~1/3 開館時間 9:00~17:00

情報やお知らせ等、是非お寄せください

